



国際ロータリー2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

週報

第2239回 例会プログラム

- 例 会 場／名鉄菜館
- 開 会 点 鐘／12:30 ●国 歌 斉 唱
- ロータリーソング／四つのテスト
- 内 容／5大奉仕委員長所信表明
5大奉仕委員長

会 員 慶 事

- 会員誕生日／8月7日 齋藤 保君
- 夫人誕生日／
8月5日 白井良太君 ご夫人 芳恵様

会 長 挨 拶

前会長 滝口 喜徳



長い梅雨もあけ熱中症対策が必要な真夏になりました。梅雨は別名、徼雨 かびのあめ（ばいう）とも表現するそうです。日本列島の四季には、欠かせない気象のひとつだそうです。本日は高村繁男会長が欠席ですが霊峰富士山の頂より皆様に伝言があります。第2分区ガバナー補佐稲葉良弥様、事務局の大庭治美様、ご歓迎申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を祈願しています。聖山からの祈願は即、効果を発揮します。

本日は富士山シリーズ第4回、富士山の高さについて代読致します。

④富士山の高さ

富士山が日本最高峰で、3,776mの高さを誇ることは皆さんご高承の通りですが、富士山においても地震による沈下や大沢崩れのような土砂の流下は防げるものではありません。しかし、室町時代に書かれた『藻塩草』には「富士の砂は人の降りるにつれて下り、一夜の間に上る」ということが書いてあり、当時は山体の永世不変ということが信じられており、事実富士山の高さは2000年程前から変わっていないともいわれています。

富士山の測量は、文化年中（1804～1817）の伊能忠敬による平地からの三角測量と思われる計算で、3,982mとされており、誤差は206mほどでした。

次に、文政11年（1828）4月にドイツ人医師シーボルトの弟子 二宮敬作は、師からの依頼で雪中登山をして3,794.5mという数字を得たと伝えられています。

万延元年（1860）には、イギリス公使のオールコックが外国人として初めて富士登山をしますが、同行したロビンソンの測量は14,177フィート（4,321m）と報告されています。

明治時代になると、6年にフランス人のレピッシュが11,542フィート（3,518m）、13年には東京大学教授メンデンホールと学生等が山頂実測し、実数に近い3,778mという数値をはじき出しています。

そして現在の3,776mという高さに決定するのは大正15年のことであり、陸軍参謀本部測量部が測量をしています。また、近年では平成9年に静岡大学理学部の里村幹雄教授等も測量をしています。やはり富士山の頂上の高さは3,776.224mのようです。

会長挨拶用
QRコード

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

次 回
8月9日の
例 会

★12:30点鐘
★ホテル御殿場館21
★会員拡大月間に因んで
会員増強委員会



第1回 ガバナー補佐 挨拶

静岡第2分区 ガバナー補佐
稲葉良弥 様

静岡第2分区ガバナー補佐の指名を受けました稲葉良弥です。

三島RCで30年を過ごし当クラブで育てられたという思いが強く残っております。最後の任務と思って一生懸命がんばりますのでよろしく御支援お願い致します。

PET及び地区協議会で新ガバナー高野孫左衛門さん（18代）の方針を聞くにつけ、職業奉仕をいかに分区内の全会員に理解して頂くか、これがガバナー補佐に命じられた使命だと感じるようになりました。今、第2620地区の殆どのガバナーが、いや、日本中の全てのガバナーがロータリーの中心は職業奉仕であり、ロータリーの目的は職業奉仕の推進にある。と言っている様に見える。

ロータリアンで職業奉仕を理解し説明できる人がどれだけいるだろうか？ 自分自身もおぼつかない。先代（17代）の高野孫左衛門さんの昨年の“ロータリーの友10月号”の職業奉仕月間の論文を読んで少しずつ理解しかけて来た。

The object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise～という原文のこのObjectを綱領と訳したのが悪い。これを目的と訳すべきであったと言っている。「ロータリーの目的」と「職業奉仕の真意」がクラブ運営に生かされていたら日本ロータリーは変わっていただろう。

だからロータリーの将来のためにロータリアン全員がもう一度職業奉仕への理解と推進を考えよう。この様に訴えているように思えた。18代現ガバナーもこの思いは同じだと思う。私自身もこの事をもっと色々な本を読んで勉強したいと思っておりますので、今日はこの程度で失礼させていただきます。



ガバナー補佐 事務局 挨拶

分区支援小委員会委員
大庭治美 様

『第3回 富士山絆の日』

2012年 7月14日(土) 富士山麓 精進湖畔
主催：第2620地区社会奉仕委員会

今年度は、富士山世界文化遺産登録を目指して、富士五湖（精進湖）の水資源の保護・保存を支援する社会奉仕委員会の活動に三島RCの会長・幹事・社会奉仕委員会の方と計6名で参加しました。当日はお天気が心配されましたが、雨も降らず活動するにはとても良い日でした。

10時より開会式があり高野孫左衛門ガバナーの挨拶があり、続いて作業の仕方の説明がありました。

精進湖の底泥を採取して成形した後焼成した基物に植物（水草）を付けてボートで湖に沈める人と、湖の周辺のごみを拾う人に分かれ2時間ばかり作業をしました。水草班は、2000個に2本ずつ植え付け、計4000本植栽しました。11月には水草を回収して水質浄化の結果が報告されます。

当日は160名の参加者があり、その中には、甲府南インターアクト、富士学園インターアクトの皆さんも活躍しておりました。

2時間後、清掃班は集めたゴミを分別しゴミ収集車で処理場に輸送しました。短時間でしたが多くのゴミが見つかりました。文化遺産を目指すには富士五湖の他の湖の周りもきれいでなくてはなりません。今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。



5大奉仕委員長 所信表明

クラブ奉仕委員会 担当副会長

勝 又 敏 雄 君

クラブ奉仕はクラブの機能を充実させるために必要な奉仕で、クラブ奉仕委員会には10の委員会が設けられております。

それぞれの委員会の主たる活動は、会員増強・会員選考・職業分類の3委員会は仲間を増やすこととあります。ロータリー情報委員会は会員並びに会員候補者への情報提供をしていただきます。出席・プログラム・親睦活動の3委員会は楽しい例会を行うよう尽力していただきます。広報・IT・クラブ会報・雑誌文献の各委員会は記録作りとその保存や対外的な広報活動を行います。

細部については活動計画書をご覧くださいたく存じます。

ロータリーの歴史を振り返りますと、シカゴに住むポール・ハリスの、友人3人と、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という思いからロータリークラブが誕生いたしました。ロータリークラブの原点は親睦と職業奉仕であります。親睦から生まれる奉仕の源は例会によって醸成されます。

例会に出席することはロータリアンの三大義務（会費の納入・例会出席・ロータリー雑誌の購読）のひとつです。

私は、会費を払うことによって例会に出席する権利を得たと考えます。例会出席を義務と考えず、出席の権利があると思えば、より楽しく参加できることと思います。

この一年間会員の皆様の参加、協力をいただき、円滑なクラブ運営と楽しいクラブづくりができますようお願いいたします。



司会者 大胡田明寿君



ソングリーダー
秋田悦夫君



出席報告 大和田浩二君



会員誕生日 生野 旭君





5大奉仕委員長 所信表明

クラブ奉仕委員会 担当副会長

山崎 恭夫君

2012-2013年度 御殿場ロータリークラブは高村繁男会長はじめ57名（うち1名事務職）、準備万端整い晴れて船出いたしました。

配布されました年次活動計画書は、各奉仕委員長のプロジェクトを実施する具体方針であります。掲げられている内容は簡素であります。各部署に配属されました会員諸兄の協力により、意義ある成果を収められることを期待しております。

周知のとおりロータリークラブの活動は〈例会内活動・例会外活動〉に分かれています。

週1回の例会に集い、その場で種々の意見交換を通じ、また事業についての知識を得、友情を深めつつ、お互いに刺激しあい、自己改善しつつ分ち合いの精神が育まれます。その結果、会員間の「絆・繋がり」は確かなものとなって「奉仕の心」が大きく醸成されてきます。この過程を私たちは親睦と言っています。

（例会内活動）ロータリーの親睦こそロータリーの奉仕の理念を研鑽する道場（あるいは人生の道場）であると先駆者は説いています。

前述の過程の中から育まれた「奉仕の心」を私たちの各々のコミュニティー（家庭・職場社会・地域社会等）に戻って奉仕活動を実践することを奨励しています。この一連の流れをロータリーでは「入って学び、出でて奉仕せよ」と標語していますが、諸先輩方はこれぞロータリーライフの理念であると評しています。

例会内活動部門（クラブ奉仕「10」委員会）は勝又敏雄副会長が、例会外活動部門（職業奉仕以下5委員会）を山崎が分担することになりますが、われわれの役目は、各委員会が活動する上での連絡調整役と考えております。

各委員長が活動計画を実行する上では、独立した権限が付与されています。

どうか委員長の手腕を存分に発揮されますよう希望します。最後に会員一同のご健勝とご協力をお願いいたします。これなくしてクラブ全体の気運は盛り上がりません、活性しません。高野ガバナーの提唱する「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させる」原動力こそ、会員一人ひとりのご健闘とご協力が必要です。



7/26の出席報告



会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
57名	56名	50名	89.29%	100%

※やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

欠席者
(6名)

井上 元君・勝間田太住君・鈴木榮一君
高村繁男君・豊山 篤君・内海隆治君



7/12のメーキャップ



7月13日 裾野RC 勝又英男君



7/26のスマイル



・先週の慰労会では大変お世話になりました。ありがとうございました。

前会長、幹事、会計

・先週は前会長、幹事慰労会並びに新会員歓迎会を盛大に開催できました。ありがとうございました。親睦活動委員会

・先日、東京駅に置き忘れたリュックサックが無傷で10日後に手元に戻ってきました。

菅沼 久君

・二人目の孫が生まれました。またしてもなしこではなく、サムライとなりました。

渡辺修司君



第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日

○例会場・事務局/YMCA 東山荘

静岡県御殿場市東山1052

電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138

http://www.gotemba-rc.gr.jp/

会
幹
会報委員長

長○高村 繁男
事○臼井 良太
○秋田 敬